

# そよかぜ通信

第304号

発行  
2025年10月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団  
調布市知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信  
〒182-0032 調布市西町290-4  
TEL 042-481-7663  
FAX 042-481-7074  
URL <http://jigyodan-chofu.com/soyokaze/>  
ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。



秋の音色が聴こえてきました！  
ロータリークラブコンサート♪

着ぐるみのおんぷくん  
とリズムに乗って  
踊りました！

きれいな音のピアノにチェロ  
そして楽しい音のマリンバ



# アート班、新境地へ。



アート班の先生の工房へお邪魔しました！  
ガチャポンのカプセルケースを細かく切って  
並べて溶かしてみると・・・なんと！  
とてもキレイな作品に生まれ変わるのです！  
どんな作品が出来上がるのかワクワクしながら、  
職人さんのように、集まって作業しました。

## パラアート展、今年も そよかぜ出展します！

10月2日(木)から10月8日(水)まで調布市文化会館たづくりにて開かれます。そよかぜをはじめ、いろいろな福祉事業所や創造者の方々の作品が展示されます。機会がありましたらぜひご覧になってください。



## そよかぜとはこんなところ

そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の人人が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前は織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。



## 「いけばなに捕まって」



子どもが五歳のときに、「少し自分の時間がほしいなあ」と思って始めたいけばな。あれよあれよと十年以上たち、その子はもう十七歳。私は師範となり、今も稽古で汗をかいしている。最初は気晴らしのつもりだったのに、すっかり花に捕まってしまった。調布の上の原小学校で子どもたちに花を教えることもある。小さな手で器に花を挿す姿を見ていると、「意外とちゃんと見てるな」と驚かされる。時にこちらがハッとするような配置を見せてくれるのだ。子どもって、ほんとに油断ならない。時々、施設の受付カウンターにも花を飾らせてもらっている。お稽古で余った花と、利用者さんの陶芸作品の器。花も器も「私の出番」とばかりに並んでいる様子は、見ていてなんだかうれしい。花を前にすると、余計なものをそぎ落としていく作業になる。

枝を抜き、葉を落とし、「この一本がいちばんキレイだね」と見つけてやる。すると自分の心の余分まで消えていく。つまり、いけ直されているのは私の方なのだ。家元は「花と対話しなさい」とよく言う。最初「何それ」と思っていたけど、最近少しわかってきた。支援の現場で、利用者さんの心の声をどう引き出すかを考えると、どこか似ている。むしろ、利用者さんや花のほうが、私のいいところを引き出してくれているのかもしれない。ありがたいことだ。

### お知らせ

調布市北部公民館文化祭で、子ども教室の元気な作品が並びます。10/24(土)～11/2(日)後期には講師陣の作品も登場します。ちょっと足をとめて見ていただけたら、花もよろこぶと思います。